

平成 21 年 4 月～9 月の主な教育改善活動

(薬)(生)はそれぞれ薬学部、生命科学部での活動、それ以外は全学での活動を表しています。

- 4 月 1 日(水) 教育 5 号館利用開始
薬学部 6 年制教育に対応した模擬薬局等の施設があります。
- 4 月 学生相談室開設
- 4 月 (生)基礎科目講義開講
基礎学力充実のための自由単位科目です。英語、数学、物理、化学、生物の各科目を開講しました。
- 5 月 24 日(土) (薬)第 2 回東京薬科大学 病院・薬局薬剤師研修会開催
84 名(うち学内 36 名)の方が参加されました。
- 5 月 23 日(土) キャリアセンター主催 TOEIC 試験
社会に必要な英語力評価です。6 月 2 日(土)と 6 月 6 日(土)にも実施し、薬学部 1 年生と生命科学部 3 年生の 682 名が受験しました。
- 5 月 31 日(日) (生)自己評価書提出
平成 20 年度の活動記録を各教員が作成しました。
- 6 月 11 日(木) (生)FD 委員会開催
今年度の FD 活動について協議しました。
- 7 月 (生)授業アンケート実施
Codex を利用して、学生による各授業評価が行われました。
- 7 月 8 日(水) 東京薬科大学 FD 委員会開催
学内全体の FD 活動について協議しました。
- 7 月 13 日(月) 日本私学協会による FD 講演会出席
学長と FD 委員長が出席しました。
- 7 月 (薬)「自己評価 21」による各教員自己評価書提出
質の高い 6 年制薬学教育が行われていることを客観的に確認し、社会に対する説明責任を果たすため、「薬学教育(6 年制)第三者評価 評価基準 平成 19 年度版」に基づいて平成 21 年度に実施している自己評価です(平成 20 年 3 月 日本薬学会第三者評価実施小委員会の「自己評価 21」実施概要より言葉の順番を変更)。この実施にあたり、各教員自らが自己評価書を作成提出しました。
- 7 月 30 日(木) 教職員と本学心理コンサルタントとの交流会
教員 25 人が参加し、本学カウンセラーによる講話と、学生の指導に関する質疑応答が活発に行われました。
- 8 月 4 日(火) 山形大学教養教育 FD 合宿セミナー参加
FD 委員長が参加しました。
- 9 月 5、6 日(土、日)

(薬)第1回東京薬科大学主催認定実務実習指導薬剤師養成
ワークショップ開催

83名(うち学内19名)の方が参加されました。

9月30日(水)インターンシップ報告会

学生によるインターンシップの報告が企業様44社ご参加のもとで行われました。学生111名が出席しました。

なお、下の活動に関しては、それぞれのサイトをご覧ください。

新型インフルエンザ対策委員会

学内の感染に対する対応を逐次発信しています。

大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム (新教育GP)

(<http://selfm-toyaku.jp/>)

「薬事法改正に対応した薬剤師育成プログラム—セルフメディケーションを実現できる薬剤師養成プログラムの開発」

セルフメディケーションを学問として体系付け、国民のセルフケア及び薬剤師のプライマリケアを推進するため、地域薬局における新しい薬剤師像を実現することをめざすためのプログラムです。

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援GP)

(<http://ssgp.toyaku.ac.jp/>)

「人間知を育む相互交流プログラムの展開」

学生・教職員の人間知を結集し、地域に開かれた知の共同体である大学の構成員として、一人ひとりの学生を育てることを目的とするものです。世代交流プロジェクト、学びプロジェクト、地域交流プロジェクト、健康プロジェクト、研修・評価・広報プロジェクトの各プロジェクトに分かれて推進しています。

社会人学び直しニーズ対応教育促進プログラム (社会人学び直しGP)

(<http://www.toyakumanabinaoshi.net/>)

「出産・育児のため休職・退職した生命科学系研究者向けバイオキャリア講座の開発」

出産・育児により休職・退職した生命科学系研究者を対象とした再チャレンジの短期カリキュラムを開発することをめざすものです。なお、平成21年度で終了しました。